



AI検査システム導入案内資料

検査事例-プリンの焼き状態など外観検査

登録したマスターとの一致度で判定が可能です



<撮像画像>

良品マスター画像を登録します(複数登録可能)。焼き色や表面状態のマスター画像との差異を機械が判断し、OK/NG判定をします。

<検査後画像>

良品サンプルです。
マスター画像に近い焼き状態なので、高い値を示しております。表面状態がマスター画像に近づくほど値は高くなります。

<検査後画像>

良品別サンプルです。
こちらも同様に高い値を示しております。
マスター画像は複数枚登録が可能で、**良品の範囲もAIが自動的に判断**できます。

検査事例-プリンの焼き状態など外観検査

登録したマスターとの一致度で判定が可能です



<検査後画像>

不良品サンプルです。

一部焼き不良があります。また、一番右のサンプルは焼きのない製品です。

不良部分の面積などに従って、値が低くなっています。一致度90%以下はNGとするなど、数値管理が可能となります。

複数パターンの良品マスター画像を登録することにより、精度高い外観検査が可能となります。

